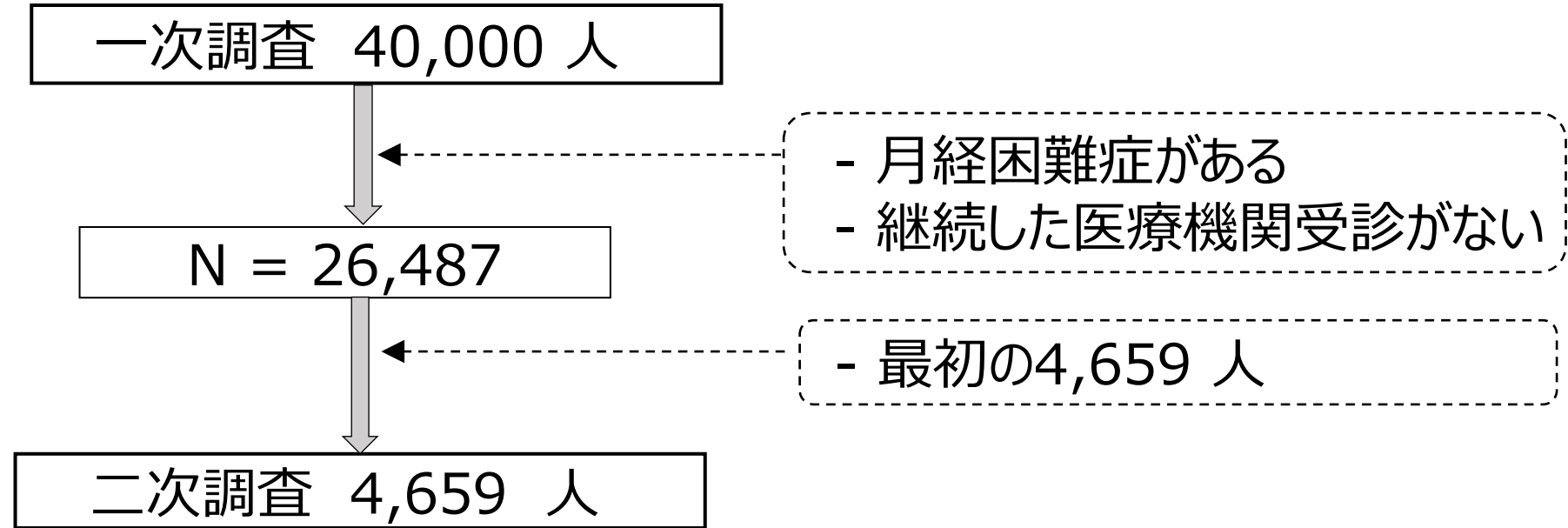


月経困難症について

- 18-49歳の女性を対象としたオンラインアンケート

第1回アンケート調査 (年齢中央値 37歳)



第2回アンケート調査 (年齢中央値 36歳)

Dysmenorrhea Score 3点以上の月経困難症で、継続した医療機関受診がない
3,708人を対象

- 統計学的解析：ロジスティック回帰分析、標準化回帰係数

Dysmenorrhea Score (月経困難症スコア)

月経困難症の程度
+
鎮痛剤使用の程度

スコア

なし

1

2

3

4

5

6

重度

中等度以上

月経困難症の程度

None

0 痛みがない

Mild

1 仕事（学業・家事）に若干の支障あり

Moderate

2 横になって休息したくなるほど仕事（学業・家事）への支障をきたす

Severe

3 1日以上寝込み、仕事（学業・家事）ができない

鎮痛剤使用の程度

None

0 月経中に痛み止めは1日も使っていない。

Mild

1 月経中に痛み止めを1日使用した。

Moderate

2 月経中に痛み止めを2日使用した。

Severe

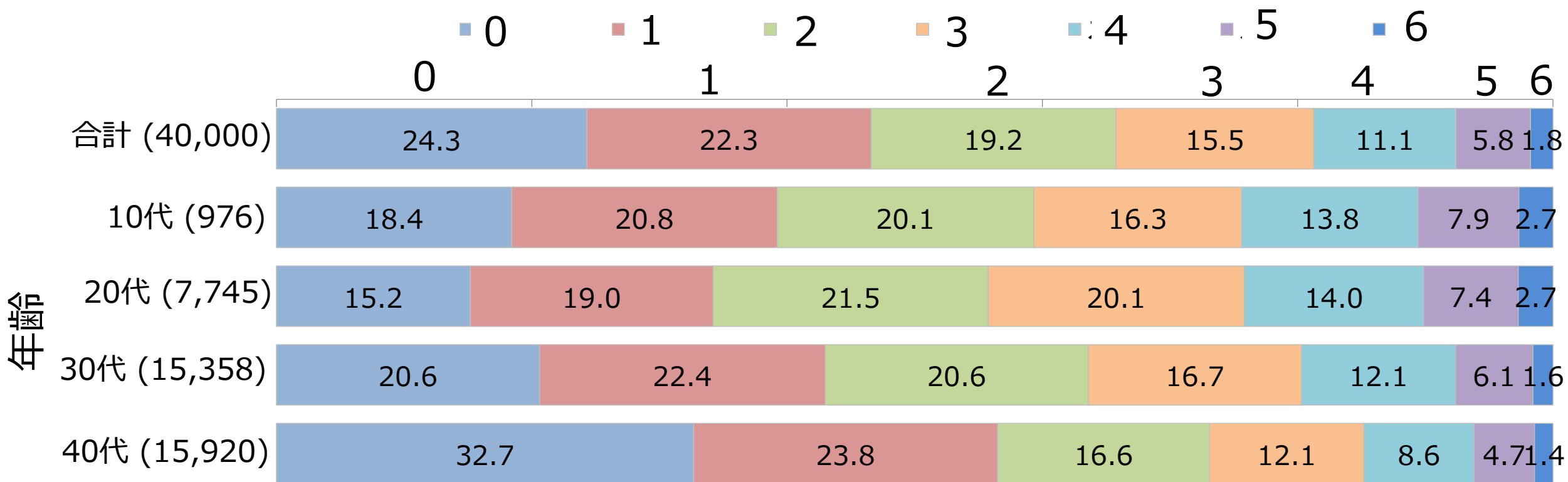
3 月経中に痛み止めを3日以上使用した。

1 回目アンケート

40,000人（18-49歳）



月経困難症スコア (n=40,000)



- 75.7 % 月経困難症あり：1点以上 21.8%が仕事を休んだことある
- 34.2 % 中等度以上の月経困難症あり：3点以上 37.3%が仕事を休んだことある

月経困難症スコアは年齢と非線形に関連していた。



医療機関への受診の状態

- 月経困難症がある人（月経困難症スコア 1 点以上）（n=30,271）

66.7% 一度も受診したことがない

20.8% 受診したが中断した

12.5% 受診継続中（オンライン診療含む）

- 中等度以上の月経困難症がある人（月経困難症スコア 3 点以上）（n=13,695）

53.5% 一度も受診したことがない

28.3% 受診したが中断した

18.2% 受診継続中（オンライン診療含む）



月経困難症に対する医療機関への受診

Predictor	OR	95%信頼区間	p
月経困難症スコア	1.86	1.77-1.94	<0.001
世帯年収			
<400万 (Ref.)	—	—	—
400–799万	1.13	1.01-1.25	0.03
800–1199万	1.29	1.11-1.50	0.00
≥1200万	1.47	1.15-1.89	0.00
わからない	1.04	0.92-1.18	0.52
雇用			
正規 + 自営 (Ref.)	—	—	—
非正規	0.84	0.76-0.94	<0.001
非労働力・その他	0.82	0.74-0.91	<0.001
最終学歴			
中学校	—	—	—
高校	0.46	0.29-0.74	<0.001
短大/大学以上	0.42	0.27-0.66	<0.001

受診率下がる

- 非正規雇用・非労働者
- 最終学歴が上がる

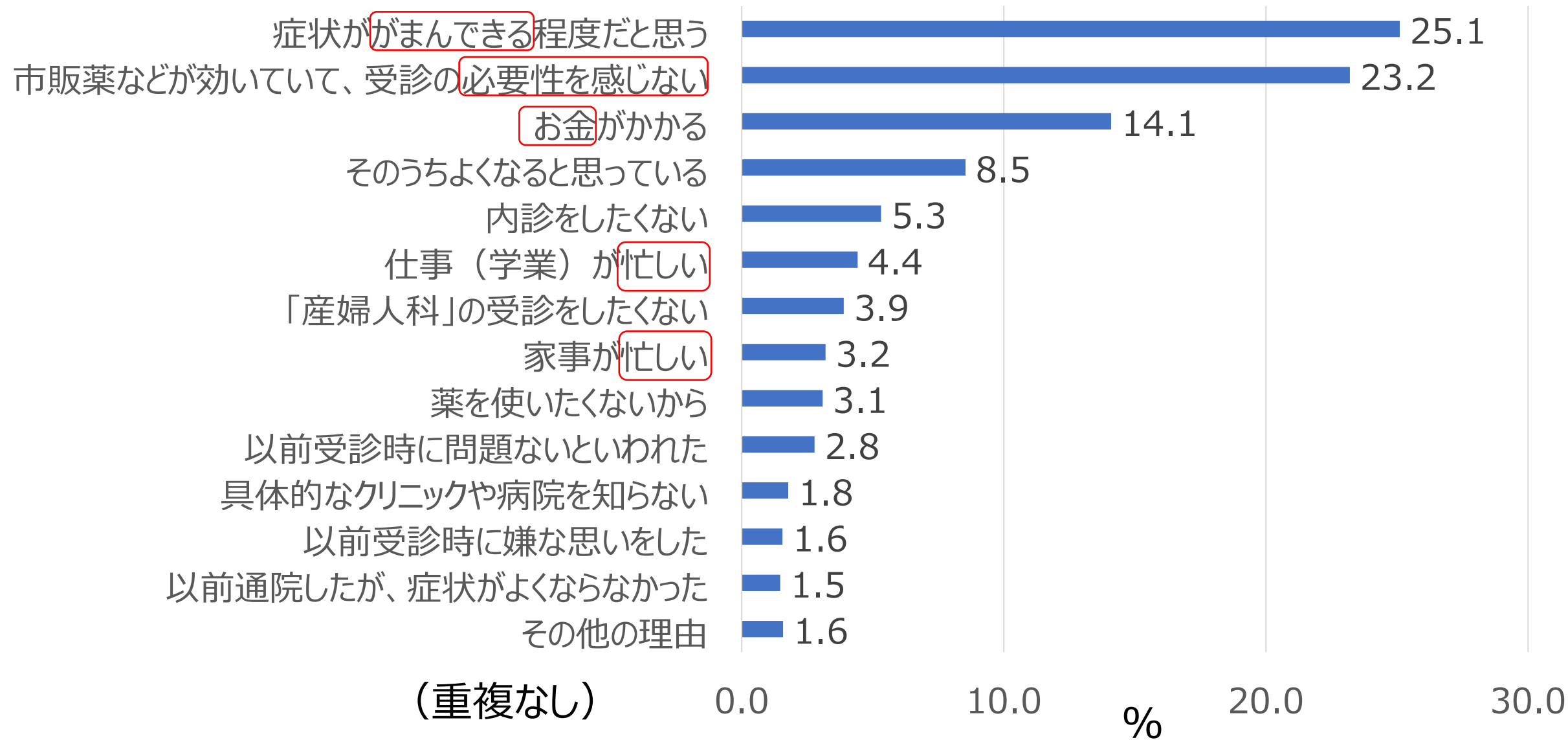
受診率上がる

- 月経困難症スコアが高い
- 世帯年収が400万円以上

(ORが高いと受診率高い)

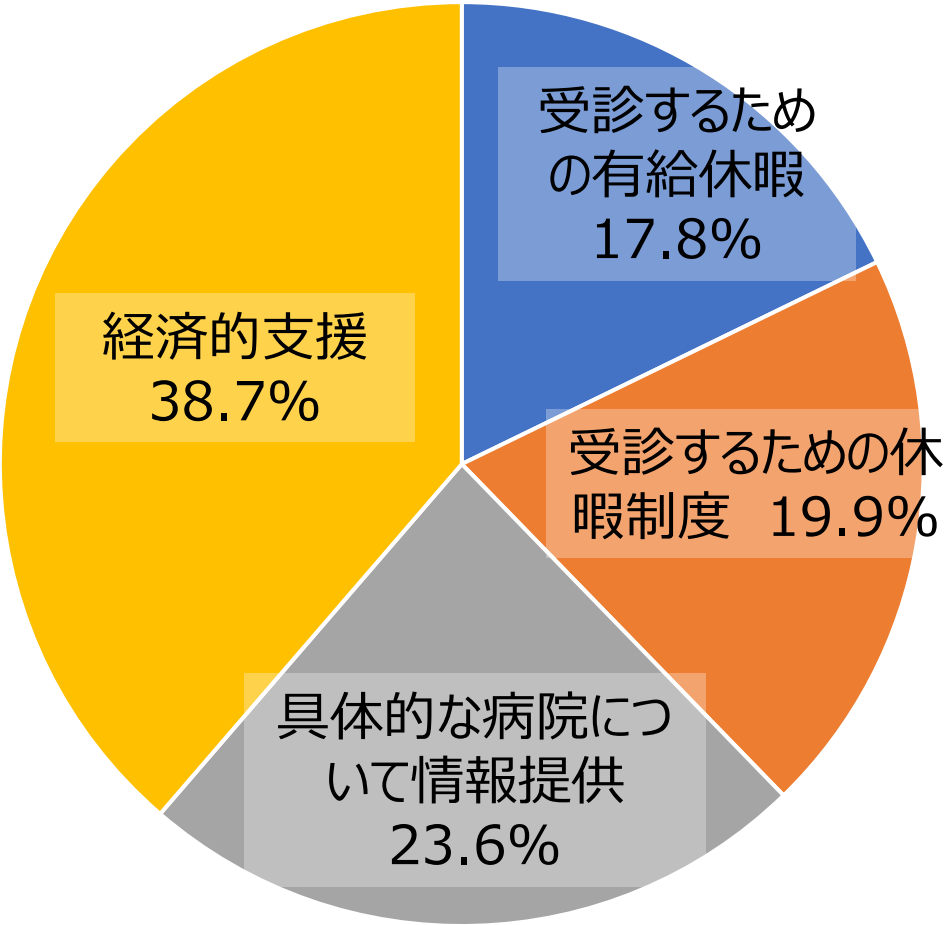


月経困難症について現在受診していない最大の理由





受診するのに必要な支援



(重複なし)

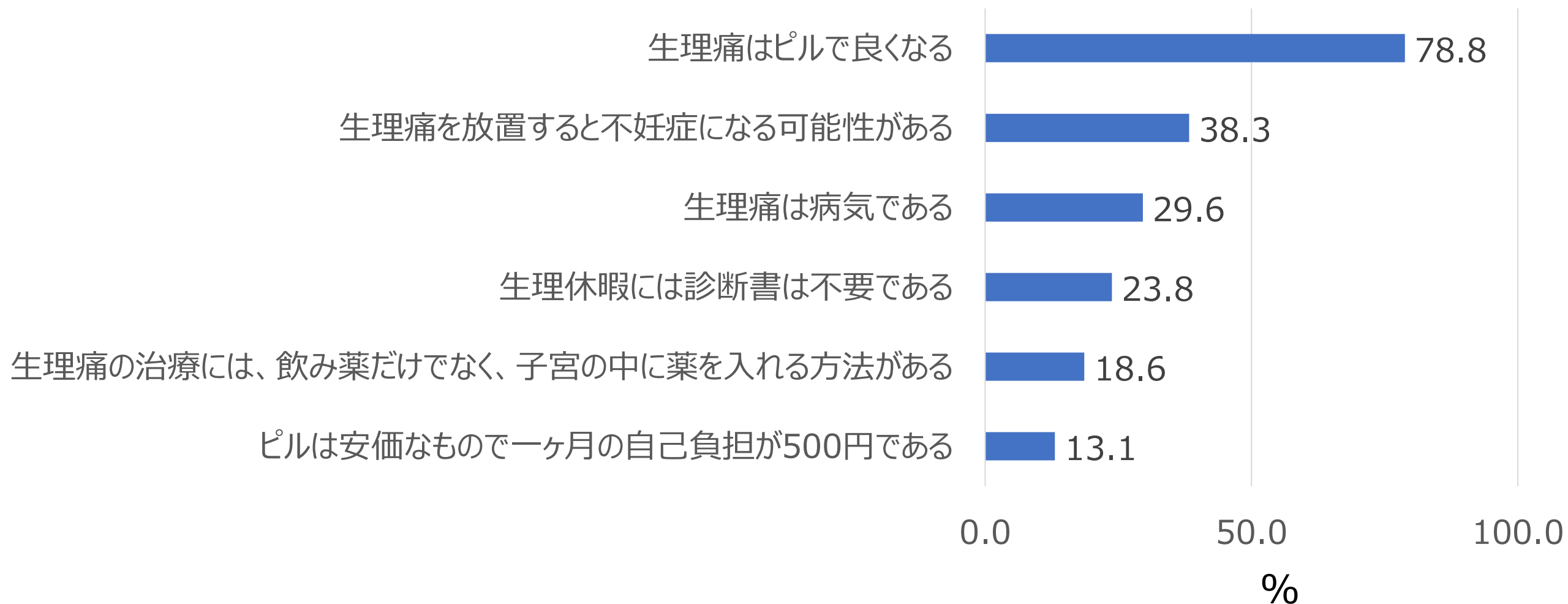
2回目アンケート

中等度以上の月経困難症、継続した医療機関受診がない3,708人（18-49歳）



月経困難症の知識の普及

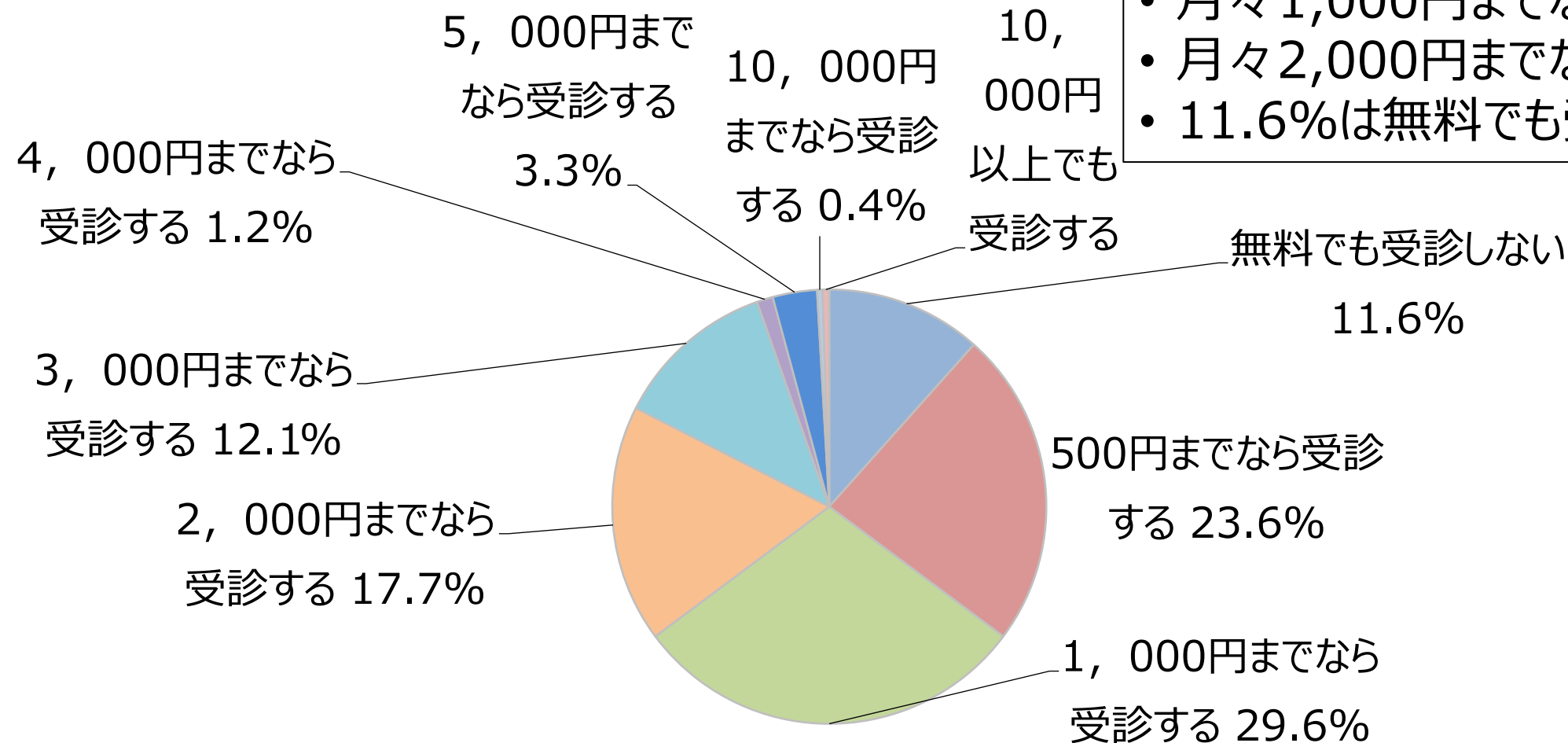
中等度以上の月経困難症のある人での知識普及率 (n=3,708)





受診するのに自己負担できる金額

Q. 一ヶ月の医療費（検査・投薬料金含む）の自己負担がいくらまでなら受診しますか。
（中等度以上の月経困難症、n=3,708）



自己負担

- 月々1,000円までなら64.8%が受診。
- 月々2,000円までなら35.2%が受診。
- 11.6%は無料でも受診しない。



1000円以上を支払う意欲がある人

	Odds Ratio		
	(OR)	95% CI	p-value
年齢	0.98	0.97 – 0.99	0.001
月経困難症スコア	1.1	1.00 – 1.22	0.048
月経困難症の知識	1.18	1.12 – 1.24	<0.001
世帯年収 (Ref: <200万円)			
600–800万円未満	1.69	1.16 – 2.48	0.007
800–1000万円未満	1.89	1.21 – 2.95	0.005
その他の収入	NS	—	>0.05
地域 (Ref: 関東地方)			
北海道地方	1.5	1.05 – 2.13	0.025
東北地方	1.44	1.04 – 2.00	0.028
九州地方	1.43	1.07 – 1.91	0.017
その他	NS	—	>0.05

(ORが高いと意欲がある)

1000円以上払う意欲のある人

- 若年
- 月経困難症スコアが高い
- 月経困難症の知識がある
- 世帯年収が600万円以上
- 北海道・東北・九州地方

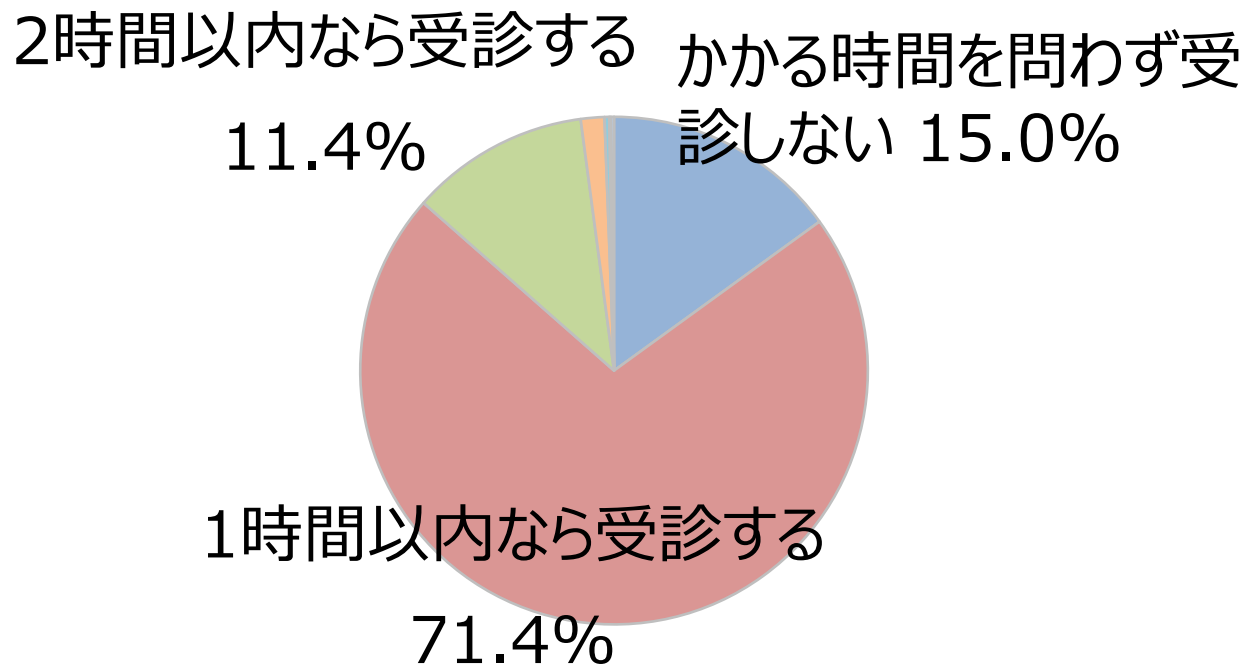
有意差なし

- 勤務形態（リモートの有無、フルタイムの有無）
- 個人年収
- 婚姻の有無
- 子供の有無



受診するのに自己負担できる時間

Q. 月々、平日日中の受診にかかる時間的負担（移動時間、待合時間など含む）がどの程度であれば、受診しますか。※平日とは、年末年始や祝日を除く、月曜日から金曜日を指します（中等度以上の月経困難症、n=3,708）



自己負担

- 月々 1 時間以内なら85.0%が受診。
- 月々 2 時間以内なら13.6%が受診。
- 15.0%はかかる時間問わず受診しない。



通院に時間を使うと回答した人

	OR	95%信頼 区間	p-value
年齢	0.963	0.95-0.98	<0.001
月経困難症スコア	1.213	1.06-1.39	0.005
月経困難症の知識	1.134	1.05-1.22	0.001
子供あり	1.537	1.17-2.03	0.002

通院に時間を使う人

- 若年
- 月経困難症スコアが高い
- 月経困難症の知識ある
- 子供がいる

有意差なし

- 勤務形態（リモートの有無、フルタイムの有無）
- 世帯年収
- 個人年収
- 地域